



令和6年1月22日

十日町市松代支所地域振興課

スポーツ文化ツーリズムアワード2023において「越後まつだい春の陣トレイルランレース」がスポーツツーリズム賞を受賞しました

ミッション型地域おこし協力隊員である新坂志保里さんが企画し、かつて松代地域の里山で使われていた古道を復活させ、昨年6月4日に初めて開催した「越後まつだい春の陣トレイルランレース」が、国の実施する「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」において「スポーツツーリズム賞」を受賞することが決定しました。

1 「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」

スポーツ庁、文化庁及び観光庁の三庁が連携して2016年度から毎年実施。「スポーツ文化ツーリズム※」の推進に寄与する優れた取組やイベントを公募し、選定・表彰を行うもので、「越後まつだい春の陣トレイルランレース」が「スポーツツーリズム賞」を受賞。

※「スポーツ文化ツーリズム」：各地域のスポーツイベントと文化芸術資源を結び付けて、新たに生まれる地域ブランドを確立・発信し、訪日外国人旅行者の増加や、国内観光の活性化を図り、日本及び地域経済の活性化を目指すこと。

2 表彰式（第7回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム内）

日時 令和6年2月2日（金） 午後1時～（開場：正午）

会場 東京都千代田区外神田2丁目16番2
神田明神文化交流館2階 神田明神ホール

H P https://www.mlit.go.jp/kankocho/page05_000292.html



3 次回の「越後まつだい春の陣トレイルランレース」について

日時 令和6年6月2日（日）

募集期間 令和6年1月5日（金）～5月15日（水）

募集人数 25kmカテゴリ350人、2kmカテゴリ150人

公式HP <https://echigomatsudaiharunojin.com/>



4 添付資料

- ・「スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」資料

■越後まつだいトレイルランニング実行委員会

代表：新坂 ☎070-3108-0507

■松代地域の情報のお問い合わせ

十日町市松代支所地域振興課

担当：柳、小林 ☎025-597-2220

第7回

スポーツ文化ツーリズム シンポジウム

同時
開催

4省庁連携セミナー



The 7th sports,culture,tourism symposium 4 ministries cooperation seminar

【日時】2024年2月2日(金)13:00～(【開場】12:00)

【会場】神田明神ホール(東京都千代田区外神田2-16-2 神田明神文化交流館2F)

【定員】●来場をご希望の方/150名 ●オンライン視聴をご希望の方/人数制限はございません

入場料無料、お申込み先着

【参加方法】●来場をご希望の方
<https://sports-culture-tourism2023.peatix.com>



●オンライン視聴をご希望の方
<https://sports-culture-tourism2023-online.peatix.com>



※シンポジウムは、事前登録制となっております。お申込みサイトよりお申込みください。 ※シンポジウムのスケジュール・登壇者は変更となる場合がございます。

第1部

主催 スポーツ庁 文化庁 観光庁

表彰式・トークセッション

基調講演

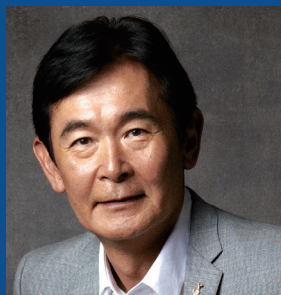
「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」表彰式を開催します。
3庁の長官が一堂に会し、トークセッションも行います。

「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」は、各地のスポーツや文化芸術の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人旅行者の増加や国内観光の活性化を図る、優れた取組を表彰します。

【モデレーター】原田 宗彦氏



スポーツ庁長官 室伏 広治



文化庁長官 都倉 俊一



観光庁長官 高橋 一郎



【講演者】原田 宗彦氏

大阪体育大学 学長 / (一社)日本スポーツ
ツーリズム推進機構 代表理事

第2部

主催 環境省 スポーツ庁 文化庁 観光庁

4省庁連携セミナー

【パネリスト】

【パネルディスカッション】
地域活性化・まちづくり
に寄与する高付加価値
ツーリズムとは

【モデレーター】山下 真輝氏
株式会社JTB総合研究所 主席研究員



江崎 貴久氏
有限会社オズ
代表取締役



多田 竜三氏
ひなたMIYAZAKI武道
ツーリズム推進協議会
会長



立花 千月香氏
柳川藩主立花邸 御花
代表取締役社長



アレキサンダー・
ジョエル・
ブラッドショー 氏
合同会社GOTOKU
代表社員

第1部 スポーツ文化ツーリズムシンポジウム

13:00	オープニング 主催者代表挨拶	室伏 広治 スポーツ庁長官
13:10	【基調講演】 「スポーツ文化ツーリズムの最前線」	原田 宗彦氏 大阪体育大学 学長／一般社団法人 日本スポーツツーリズム推進機構 代表理事
13:40	スポーツ庁、文化庁、観光庁の3長官によるトークセッション	室伏 広治 スポーツ庁長官 都倉 俊一 文化庁長官 高橋 一郎 観光庁長官 ※【モデレーター】原田 宗彦氏
14:15	スポーツ文化ツーリズムアワード2022 受賞団体動画放映	
14:30	スポーツ文化ツーリズムアワード2023 表彰式	※プレゼンター 室伏 広治 スポーツ庁長官 都倉 俊一 文化庁長官 高橋 一郎 観光庁長官 2023年度各賞受賞団体代表者
15:10	スポーツ文化ツーリズムアワード2023 受賞団体動画放映	

第2部 4省庁連携セミナー

15:20	オープニング 開会・概要説明	山下 真輝氏 (株式会社JTBC総合研究所 主席研究員)
15:25	パネリスト紹介	【モデレーター】 山下 真輝氏 (株式会社JTBC総合研究所 主席研究員)
15:45	パネルディスカッション	【パネリスト】 江崎 貴久氏 有限会社オズ 代表取締役 多田 竜三氏 ひなたMIYAZAKI武道ツーリズム推進協議会 会長 立花 千月香氏 柳川藩主立花邸 御花 代表取締役社長 アレキサンダー・ジョエル・ブラッドショー氏 合同会社GOTOKU 代表社員
16:45	まとめ・閉会	山下 真輝氏 (株式会社JTBC総合研究所 主席研究員)

第1部 スポーツ文化ツーリズムアワード2023受賞取組発表

2016年度から始まった「スポーツ文化ツーリズムアワード」。2023年度は、全国の応募の中から「スポーツ文化ツーリズム賞」「スポーツツーリズム賞」「文化ツーリズム賞」「武道ツーリズム賞」「日本遺産ツーリズム賞」「食文化ツーリズム賞」に選定された計7団体を表彰いたします。

【スポーツ文化ツーリズム賞】

日本最強の城「今治城」を中心にした
スポーツ文化ツーリズム
～瀬戸内の中央を制した歴史が現代に繋がる～
愛媛県今治市

【スポーツツーリズム賞】

里山に点在する古道を蘇らせ
新たな地域資源として発信!
「越後まつだい春の陣トレイルランレース」
越後まつだいトレイルランニング実行委員会

【文化ツーリズム賞】

「碓氷峠 廃線ウォーク」
～行き止まりのレールの先を、次の世代に～
一般社団法人 安中市観光機構

【武道ツーリズム賞】

外国人観光客向け
本格的弓道体験
～古の都奈良で武士の魂にふれてみよう～
一般財団法人 奈良市総合財団

【武道ツーリズム賞】

北海道福島町
「女だけの相撲大会」
～日本で唯一2人の横綱が誕生した町～
福島町観光協会

【日本遺産ツーリズム賞】

国指定史跡・日本遺産
～星降る中部高地の縄文世界～
「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」の
観光資源化
一般社団法人 下諏訪町地域開発公社 観光振興局

【食文化ツーリズム賞】

日本遺産を食で巡る旅
「炭鉄港めし」プロジェクト
炭鉄港推進協議会事務局

第2部 パネリストプロフィール

江崎 貴久氏

有限会社オズ 代表取締役

1997年、家業である旅館海月の経営を行う有限会社菊乃を設立。2001年、有限会社オズを設立し、離島をフィールドに自然や生活文化を通して環境と観光、教育と環境を一体化させたエコツアー「海島遊民くらぶ」を展開。現在、環境省中央環境審議会臨時委員、伊勢志摩国立公園や鳥羽市のエコツーリズム推進協議会会長等を務め、各地のリーダー・人材育成や、地域の活性化に取り組んでいる。

立花 千月香氏

柳川藩主立花邸 御花 代表取締役社長

福岡県柳川市出身。旧柳川藩を治めていた立花宗茂の末裔(第18代)。大学卒業後、東京の商社に3年間務める。その後、アメリカへ留学しホテル経営を学び、株式会社御花へ入社。2015年に代表取締役社長に就任し、400年の大名文化を受け継ぐ指定名勝「柳川藩主立花邸 御花」にて料亭旅館を運営している。受け継いできた文化財のさらなる魅力を引き出すため、「文化財を遊び倒す」をテーマに様々な活用を企画・実施している。また、まちづくりにも積極的に関わっており、新しいイベント「やながわ水辺の夜市」を企画するなど、活動は多岐にわたる。

多田 竜三氏

ひなたMIYAZAKI武道ツーリズム推進協議会 会長

宮崎県出身、剣道七段(47歳)。剣道具製造工場の家に生まれ、大学卒業後フランスを拠点に剣道普及活動を行う。1999年より剣道具輸出業を始め、2007年に株式会社日本武道宮崎を設立。その後、家業の技術を生かし革新的な剣道具「サード」を開発。武道ツーリズムを通じて、剣法発祥の聖地宮崎県を世界に発信。現在は、アフリカ事業の原動力に武道を活用することに注力。

アレキサンダー・ジョエル・ブラッドショー 氏

合同会社GOTOKU 代表社員

イギリス・シェフィールド出身。リーズ大学歴史学専攻。卒業後、システムエンジニアとして大手IT企業に入社。2005年来日。株式会社島津興業に入社し、海外営業部長を務めながら、鹿児島県の知名度向上に貢献する。2019年に設立したコンサルティング会社・合同会社GOTOKUに専念するために、2022年9月に島津興業を退社。現在、内閣府クールジャパンプロデューサー、鹿児島県海外広報官を兼任しながら、観光庁事業の選定委員、ならびに有識者も務める。日本全国で消えかけている伝統文化を守るため、文化観光の発展にも力を入れており、観光開発、アドバイザー以外にも積極的に講演活動も行っている。

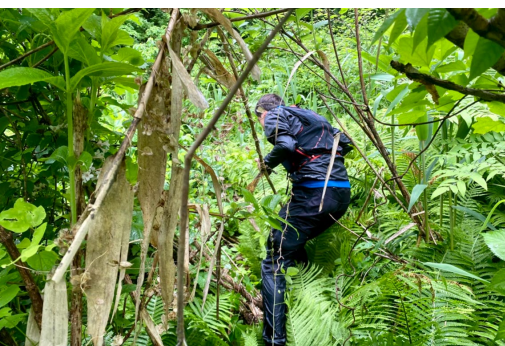
スポーツ文化ツーリズムアワード2023 【スポーツツーリズム賞】入賞

(申請団体)

越後まつだいトレイルランニング実行委員会



里山に点在する古道を蘇らせ新たな地域資源として発信！ 「越後まつだい春の陣トレイルランレース」



取組概要

新潟県十日町市松代で行われたトレイルランニング大会。今は使われなくなり荒れてしまった古道を再発掘してコース用に整備、里山集落のなかを走れるコースを盛り込んで日本の原風景を体感できる大会制作を実現。

「大地の芸術祭」と連携させることで、「アート×トレイルラン」というユニークな特徴を持つ大会となるほか、地域活性化や里山環境保全、アスリートへの気候変動アクションの提唱が目的となっている。



評価ポイント

- 里山の古道という潜在的な観光資源を上手に活用している。
- 地域を巻き込んだ取組になっており、インバウンド層の取り込みもできている。
- 常設のアートをクローズアップする機会として非常に有効である。